

見通しを持って家庭学習に取り組む生徒：7割アップ↑



11月5日(月)より、宿題や家庭学習で使用する予定のない教科書や教材は学校に置いていってよいこと(通学時の携行品の軽減化)にしました。これまでは「学校に置いていってよい教材」を指定し、それ以外は原則持ち帰ることになっていましたが、帰りのホームなどで、「家でどんな勉強をしようか」「そのためにどんなものが必要なのか」と自分で見通しを立てて帰りの準備をし、家庭学習に取り組むようにしました。

〔実施後のアンケート結果〕

質 問	「はい」と答えた生徒
① 教科書や教材を置いていくようになった	69.4%
② (①の生徒が回答) 置いていく教科書や教材は見通しを持って決めている	94.9%
③ 通学時のカバンは軽く(量は少なく)なった	68.2%

〔生徒の感想〕

- ・帰ってから何をするのか、先に考えてから帰るようになり、前より計画的になった。
- ・通学カバンが軽くなって、部活で疲れていてもとても楽になった。見通しを持つことが大事になってきてよく考えるようになった。
- ・歩くときは、とても肩の負担がなくなり、楽になったし、自転車では重くてふらふらすることなく安全になった。
- ・朝や帰りの登下校が楽になったし、家に持ち帰った分だけの勉強をしっかりとするようになった。
- ・家で勉強する内容を学校で決めていくことにより、家に帰って何をするかが分かるのでよいと思う。
- ・学校に教科書を置いていくようになってから、今までより登下校が楽になった。また、家での学習内容を学校にいるときに考えられるようになった。

約7割の生徒が、見通しを持って教科書や教材を置いていくようになり、通学時の携行品の軽減にもつながったようです。今後とも、家庭学習の充実をはじめ、「自己判断」「自己責任」という視点を大切にしたいと考えています。



◇◇人権について考えよう◇◇

*** 12月4日(火)～10日(月)は人権週間です ***



今年も全国で「人権週間」が展開され、各地でいろいろな取組や啓発活動が行われます。昭和23年(1948年)に国際連合総会で『世界人権宣言』が採択されたことを機に、日本では翌年の昭和24年から毎年12月4日～10日が「人権週間」と定められました。本年度の重点目標は、「みんなで築こう 人権の世紀 ～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心～」です。学校でもこの期間、人権について考える機会を設定し指導していく予定です。ご家庭でもこの機会に、お子様と人権に関して話し合われてはいかがでしょうか。

冬季の登下校(自転車通学者)について

北陸特有の荒れた冬が近づいてきました。本校の校則では、登下校は徒歩か自転車通学となっていますが、冬季の自転車通学生を対象に、車の送迎を許可しています。下記の通りとなりますので、ご理解のうえ、ご協力をお願いします。

1 怪我や病気による場合

怪我や病気により、徒歩・自転車通学が困難な場合。徒歩通学者にも適用されます。また、玄関まで送迎されて結構です。

2 積雪、凍結及び暴風雨で自転車の通学が困難な場合

徒歩通学生の安全確保のため、校地(新化館前駐車場も含む)への乗り入れはご遠慮ください。乗降場所は「中井通り」(宇野気駅正面の通り)をお使いください。

◎自転車の通学が困難な場合の登下校手段

- ① 電車を利用しての登下校(金津地区、特に横山、宇気の生徒)
- ② 徒歩での登下校(学校に近い生徒、宇気、狩鹿野の生徒)
- ③ 車の送迎での登下校(学校から遠く、駅も遠い地域の生徒)

以上の3つの手段をお子さんと相談して、決めてください。

【その他、服装のお願い】

- ・履物も冬季には、長靴、ブーツ、スノトレを履く習慣をつけてください。靴では、安全面でも滑って危険ですし、靴下を濡らすと健康面も衛生面でもよくありませんのでご協力ください。
- ・冬季の登下校は、ぜひ防寒具(コート)を着させてください。そして、校内生活は、学習しやすいように、合着(制服の下)は薄着をお願いします。校舎内は十分に暖房されていますので、大きく、分厚いトレーナーやセーターは合着として使用しないでください。

※〔やめましょう〕安易な送迎は生徒を弱くします。

車での送迎は、あくまで自転車での通学が困難な場合だけです。なかには、天候に関係なく送迎してもらっている生徒がいました。さらに、3年生の中に塾に迎えに来てもらうために、登校から送迎してもらう生徒もいましたので十分ご配慮ください。

